

読書感想文コンクール

間田布施図書館 ☎ 52-2288

第45回読書感想文コンクールにおいて、次のとおり入賞者を決定しました。

(受賞者名、学校(一般は自治会)名、学年、題名の順に表記)

優秀	田村 惠和 田布施西小 3年	でてこい ぼくのほんまきもち 勇気をもって 日本の水は流れすぎ 生きる
優良	井上 來結 麻郷小 6年	この夏のちようせん みんなちがつてみんないい ゆめへのちいさいなippa
入選	河村 咲花 城南小 6年	失われても輝き続ける瞬間 毒のアリバイ
	羽部 悠真 田布施中 3年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	國本 華凜 田布施農工高 3年	みんなちがつてみんないい みんなの「メガネ」知りたいな 平和を願いできること
	魚崎 心羽 御藏戸 一般	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	藤井千恵子 田布施西小 2年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	浜辺 桢 田布施西小 1年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	松本 瑛翔 田布施西小 3年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	吉木 風丞 田布施小 4年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	角本 城南小 田布施中 4年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	山本 麻郷小 田布施中 5年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	岩本 万里名 田布施中 6年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	高瀬 直翔 田布施農工高 1年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	三浦日笑子 田布施農工高 3年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん
	神崎 百花 田布施農工高 3年	じぶんのきもちをつたえよう わたしのともだち、シロツメク サさん

*「広報たぶせ」の点字版または音訳テープをお届けします。社会福祉協議会(☎ 53-1103)へお問い合わせください。

全員の理想の形

私たちと人権シリーズ

田布施町立東田布施小学校 校長 平田 俊文

『みなさん。これからは、子どもたちのことを男女関係なく○○さんと、「さん」を付けて呼びませんか。きっと優しくなれますよ。』

これは私が教諭だった頃、ベテランの女性教員の方が、職員会議で呼び掛けられた言葉です。

私はそれまで恥ずかしながら、子どもたち、特に男子児童に『さん』を付けて呼んだことはありませんでした。呼び捨ての方が親近感が沸き、子どもたちとの距離が縮まるだろうという勝手な勘違い、また、自分は教員、相手は子どもという関係から、名前の呼び捨ては当たり前だと思い込んでいました。

さつそく次の日から、全職員が男子児童、女子児童関係なく『さん』を付けて呼び始めました。私は子どもたちに、『さん』を付けて呼ぶことは相手を大切にする呼び方であること、相手が子どもであっても一人の人間として尊重する呼び方であること、お互いの心が穏やかになることを伝えました。私自身、最初は照れがありました。子どもたちも、戸

惑いを感じていました。しかし、続けていくうちにそれが当たり前になります。逆に呼び捨てをすることに抵抗を感じるようになりました。

間違いなく変わったことは、私自身、心が常に穏やかになったこと、さらには、子どもたち一人ひとりを今まで以上に大切にするようになりました。特に、子どもたちを指導する際には、『さん』を付けて呼んだことがありました。感情に任せて『怒る』の子どもたちの名前を正しく呼ぶことで、冷静な自分でいられるようになりました。改善に繋げていく『叱る』ことが意識的にできるようになりました。また、子どもたち同士も『さん』を付けて名前を呼び合うことで、トラブルも減りました。

たった二文字の『さん』が私や子どもたちを変えました。言葉の力は改めて驚かされます。日常の言語環境はとても重要です。人権感覚を高める第一歩は、相手を尊重した呼び方をすることからだと考えます。学校全体で『さん』が飛び交う環境をつくっていきたいと強く思います。